

お寺訪問 第十一回 望海山久林寺



大住住職

大和朝廷の東国平定に際し、その功により「いほはらの君」は富士川から大井川にいたるいはらの地を統治することに...



はら「いほら」を種子として 今日まで三十代も続いて

いる「庵原家」(江戸中期に「草ヶ谷」と改姓した)の庇護により寺は今日を迎えている。同家に伝わる古文書に今から約四百年前、江戸開...

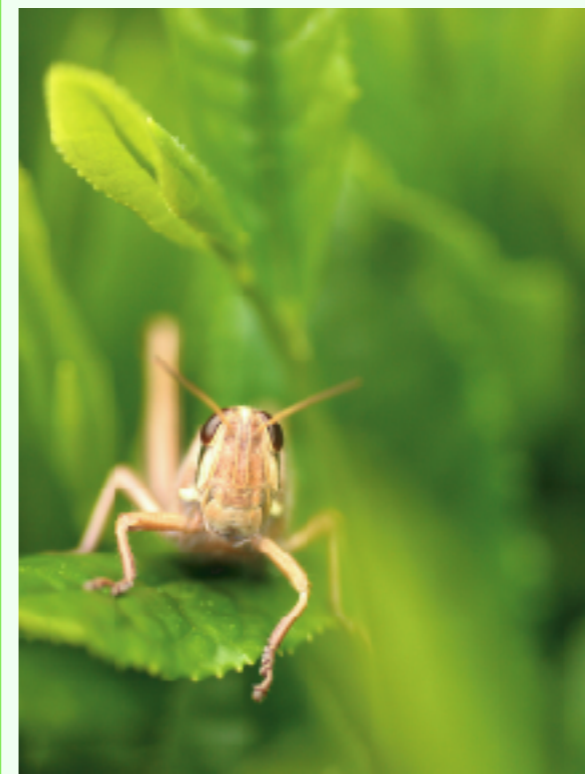


脚の修行僧や他寺の隠居僧などが住持していたことが再三であった。明治時代になって宗制が確立され、久林寺は禅宗京都妙心寺派の末寺となり、現在は興津清見寺の法系四世として住職している。本尊は薬師如来、五百坪の境内に二百坪の建物が建ち、二百余の檀信徒が布教教化に当たっている。又寺の少し南、庵原中学校の門前に「禅法庵」という堂があるが、これも白隠禅師の門弟のために庵原家が建てたもので、久林寺の別庵となっている。

馬頭観音も



が伐採され、またその周りの畑も放任されてしまい見るも無惨な状況でした。まずは馬頭さんを祀る祠の製作から始めました。材料は地蔵看板製作時に製材した杉板の残りもの。厚さは三十ミリもあり...



広瀬写真クラブ 杉山幸弘 「新茶の頃」

http://picasaweb.google.com/sugit1951/rfkKB

一九八九年に埋めた タイムカプセル

した。何事も綺麗にするという事は気持ちのいいものです。ここまでやったついでに草の生い茂る前の畑まで全面除草して完璧!。せっかく綺麗になった馬頭さんです。皆さんも是非お参りしてみてください。



今から十八年前の一九八九年、公民館の片隅にタイムカプセルが埋設されました。この中には当時の子供会員、約八百五十人の作文(題は「二十年後の私」というようなものだったと記憶しています)各地区の写真(四枚)その他、子供の習字や連合自治会の自治会長さん...

日々の暮らしと俳句

第十六回 杉山靖子

去る五月二十日、三年ほど前より計画はあったもののなかなか進まなかった、茅ヶ岡にある「馬頭観音像」周辺の環境整備を行いました。この馬頭さん、以前は鬱蒼とした木立の中にあつた為に風化が進んでいなかったのですが、何年前か前、樹...

この祠が完成したところで、いよいよ現地の整備。当日はマルホの積久さんも手伝いに来てくれて大助かり。農道から現場までの山道も通れるようにしてはなりません。草刈り、整地まで済んだところで、祠の設置。馬頭さんを入れてみると思わず「おお、いいじゃん!」その後、山道には御影石の石段、またこの道沿いには四つ目垣まで作られ、想像していた以上の仕上がりになりました。

口惜しげに見開く眼初鯉

和義

初鯉の眼を口惜しそつと感ずる人は少ないでしょう。鯉の心情とは裏腹に、初鯉を喜ぶ人間の姿が想像されます。夫々の立場が面白く詠まれ、深みを感じます。大皿に着が行き交ふ初鯉 喜恵

初鯉大きな皿に箸の数

園子

見事な省略です。余分な表現が無い事が読者に想像を広げさせます。大皿の模様までも想像してしまいます。ワイシャツの似合ふ少年風薫る のぶ子のぶ子さんの句はいつも素直で瑞々しい仕上がりです。雲なびく水平線や初鯉 範路

遠くから見えていた桐の花と近づいて見上げた桐の花

勝也

との違いが感性豊かに詠みあげられています。ペダル踏む肩に五月雨通学路 夫佐江

きまぐれな五月の雨に急ぎ足

富士代

五月の雨を気紛れと捉えた感性と、下五に動作を加えた事により句に動きが生まれ面白くなりました。店先の高き呼び声初鯉 富美

ナレンジ 影山建樹

昨年五月、縁があつてポルトガルを旅行した。初夏の陽光は穏やかで、空の青さが海の青さに続いている。首都リスボンを流れるテージョ川が河口港となつており、海の男たちはここから「黄金の国ジパング」と「世界一周」を目指し鉄砲を日本へもたらした。どこかに海の男の子孫がいないかと、あちこちを見回すが、荒くれ男は見つからず、町はジャカランダと称する紫の花で埋められた平和なたたずまいである。

旅行中、誘われて古代ローマ時代に栄えたコニンブリガを訪れた。リスボンにも水道橋などローマ人の遺跡があつて彼らの科学的な思考と造形の妙に目を見張るが、コニンブリガもなかなかのものである。一世紀に築かれ、五世紀には滅び、十九世紀に発掘されたというが、神殿を中心に貴族たちの屋敷が並び、細かい石を並べたモザイクの床が美しい。最も美しく保存状態が良いところは小さな水路に囲まれて草花が植えられた。

が実務は庵子連で進めたものでした。当時の小学六年生も開封時には三十二歳になっています。中から出てきた物をどうするのか?どんな形で掘り起こすのか?その日が来るまでにやらなくてはならない事もあります。そろそろ、そんな準備もしておかなくてはならない時期なのかもしれません。

初鯉が店頭に並んだ情景を、中七の表現が音を伴って読み手に想像させます。句にも活気があります。居酒屋の手書きのメニュー初鯉 昌信

飲んでいただけではありません。俳人は居酒屋でも季節の移り変わりをしっかりと心に留めています。五月雨や心しづめる歯科の椅子 美咲子

感性を磨いていると何処でも俳句が詠めるといふお手本です。歯科の椅子も俳句の洒落た小道具となります。一輪の牡丹散らして昨夜の雨 美智子

「昨夜」はよべと読みます。美智子さんの言葉への探究心は尽きません。俳句を詠む上で大切な事です。前置きは酒の蘆薈初鯉 友希子

蘆薈を得意げに披露している人と、早く初鯉で飲みたい人が想像されて面白いですね。季節が的確です。伽羅路を美味きと思ふ齢かな 幸弘

「齢」はよわいと読み年齢を表します。広瀬の若手も伽羅路の味に分かる年齢となりました。五月雨や偲ぶ姿のヘルメット 夢の夢の輔

雨に濡れているヘルメット姿が一番印象に残っているでしょう。ヘルメットから亡くなった方が想像され、五月雨に悲しさが濡れてゆきます。五月雨や二人暮しの一人の夜 逸子

秋の雨からは醸し出されない五月雨の雰囲気を巧に捉えています。寂しすぎない味わいが心地良いですね。故郷に昼酒少し初鯉 靖子

れており「噴水の館」として当時の庭園を再現している。その近くにオレンジが実る樹木が並んでいた。夏ミカンを思わせる実がたわわに実り、夏の日差しを避けるにも都合がよい。添乗の通訳に「これは何というミカンか?」と尋ねると「ナレンジです」という。彼によれば「この実は早くて食べられず、香りも悪い。しかし、長く樹に成つていて落ちないので庭を飾る樹として使っている。オレンジになれないからナレンジです」という。

「そんな馬鹿な。理由はともかくとしてなれないからナレンジと日本語を使うのはおかしい」と言う。「みんながナレンジといいますが、日本語じゃないでしょう」という。成る程、ノーオレンジがノンオレンジがナレンジに変化したのかもしれない。柑橘に詳しい人は教えてください。

人の力とは凄いですね!一人では無理、難しい事も同じ目的の人が数人集まれば、思った事以上の事が出来てしまう。先日馬頭観音の整備の時にそう実感しました。私達のメンバーの一人が入院の何歳になるかと健康でいられるのが一番ですね。健康の秘訣は人それぞれかと思いますが「活力ある生き方」に努力したいと思います。 三千男

広瀬地図看板の花壇を春から夏へ変更。いつも任せ切りだったが今頃は私もホオズキを植えてみた。ちよと手を出すことで先の楽しみが増えた。上手く育つか。 幸弘

去年は体協地区理事。そして今年には自治会の役員になりました。「広瀬っていい所だね」と広瀬内外から言われるように頑張りたいと思います。 昌信

健康には全く自信がない。でも人の一生はどれだけ生きたくてはななくどう生きたかが大事だ。自分が納得出来る一生懸命の一生、終わりたいものだ。 E-mail: ではなく How to スイッチ! 和義



上のQRコードを携帯電話で読み取ってください。

編集後記